

高齢者施設内での 新型コロナウイルス感染症患者への対応事例

嶋北内科・脳神経外科クリニック

渡會 光

クリニックの体制

在宅医療支援診療所

訪問診療担当医師：2名

発生施設の概要

有料老人ホーム

施設入居者：35名

平均年齢：86歳

介護1：5名、介護2：10名、介護3：12名

介護4：6名、介護5：2名

入居者全員の定期訪問診療を当院が担当

施設職員：17名（※うち 看護師2名）

発生(陽性確認)の経過概要

月	火	水	木	金	土	日
				4月1日	2	3
4	5	6	全入居者検査	8 3名 +11名	9 全職員 検査	10 1名
11 16名 5名	12 2名	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25 2名	26	27	28	29	30	5月1日
2	3	4	5	6	7	8
9	10 施設隔離 解除	11	12	13	14	

患者陽性

職員陽性

1日目 4月8日

昼に同施設内で発熱者が3名との報告・往診依頼
→ID NOW*で3名の陽性を確認

全入居者検査(抗原定性検査・ID NOWのいずれか)
→入居者11名陽性

* 新型コロナウイルス核酸増幅検査 NEAR法

入居者全員検査
ラゲブリオ処方

2日目 4月9日

職員全員対象のスクリーニング検査(保健所)

→翌日、職員1名の陽性を確認

3日目 4月10日

4日目 4月11日

入居者16名陽性 職員5名陽性

入居者2名酸素化悪化傾向

→ベクルリー投与を開始

入居者並びに施設職員に対する検査

ラゲブリオ処方:16名

ベクルリー投与2名

5日目 4月12日

入居者1名酸素化悪化傾向

→ベクルリー投与開始

職員2名陽性

患者ご家族への連絡

ベクルリー投与:3名

職員の検査:3名

クリニック事務員から全入居者家族に一斉連絡

6日目 4月13日

入居者1名酸素化悪化傾向

→ベクルリーとステロイド投与開始

ベクルリー投与:4名

去痰剤処方:4名

7日目 4月14日

集団感染に対する対策会議(Web)

ベクルリー投与4名
Web会議

8日目(4月15日)以降

新たな増悪症例は1例

ベクルリー投与を行った症例は計5例

対症療法の実施

ベクルリー投与(最長10日間)

補液治療 4例

抗菌薬投与 5例

当院で実施した医療ケア

新型コロナウイルス感染症患者
入居者33名、職員8名

ラゲブリオ投与人数:30名(入居者)

酸素投与人数:6名

ベクルリーとステロイド投与人数:5名

ステロイドのみ内服人数:1名

食事摂取量低下に対する補液人数:4名

去痰剤や抗菌薬処方人数:10名

連携

【保健所・県立中央病院】

施設のゾーニングや感染予防策

検査実施に関わる各種調整

治療患者の情報共有と治療方針の相談

【薬局】

ラゲブリオの調達

【施設】

連日入居者のバイタルサイン・経口摂取量などを共有

家族やケアマネジャーなどの反応を共有